

# 校長室より

令和 3年1月31日  
校長 植野 博之



令和3年がスタートして、もう1ヶ月が過ぎようとしています。

新型コロナの感染状況は、冬場になり、ますます感染が広がり、緊急事態宣言が出されている地域も多いです。

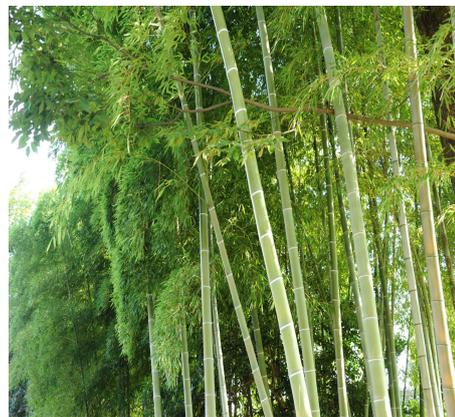
マスクの必要でない、感染を気にしなくてもすむような日常生活には、まだまだもどりにくいですが、一方で今まで以上に当たり前の生活が実はとてもありがたいものだと感じます。

今年の3学期始業式では、竹の節の話をしました。竹が強い風雨にも負けず、細くても高くしなやかに伸びているのは、竹にある節のおかげです。

節があるからこそ、節目 節目があるからこそ、細くても高くしなやかに伸長できます。

Withコロナの時代の中で、今年は丑年、牛のように辛抱して我慢を強いる場面もあるかもしれませんが、コツコツと1時間、1時間 そして1日、1日の節目を大切にしながら竹のようにたくましく伸長してください。

令和3年が良い年となりますように！



## 高等部 主権者教育を行いました！

1月22日（金）高等部では、主権者教育を行いました。和歌山県と美浜町役場から、3名の講師の先生に来ていただき、選挙の仕組みについて等講義をしていただきました。

その後、立候補者への模擬投票を演説から投票、開票まで実際の選挙に見立てて行いました。

投票所を設置し、生徒も少し緊張しながらも模擬投票を行い、選挙の仕組みを知り、投票の仕方について実体験できる良い経験になったと思います。



## 中学部 南紀支援学校と交流学习！

1月27日（水）中学部2年生は、南紀支援学校の生徒と英語の遠隔授業を行いました。ズームを通して、英会話で自己紹介をしながら、お互いの好きな食べ物や好きな事など、質問し合いました。笑いや冗談のある和やかなムードで交流学习を実施できました。

南紀支援学校の生徒も「みはまの生徒の発音がきれいだった」と感想を言ってくれました。直接に会うことは今はできませんが、人数が互いに少ない中で、遠隔授業で顔を見合わせながら親しくなれてとてもよい交流の機会となりました。



## 校内授業研究会実施！

1月28日（木）本校教職員全員で、校内授業研究会を行いました。

今年度は、1学部（和歌山病院入院）の生徒の普段の授業風景から、生徒の様子とこれからの支援の方法について、学校全体で検討会を行いました。

様々な意見を交流しあい、多面的に情報を収集し、共有する中で、新しい視点もできます。

密をさけるため、ドアを開放し、体育館での研修会となりましたが、先生達は、こんな支援の方法もないかなと熱心に語り合いました。



## 児童生徒作品！

